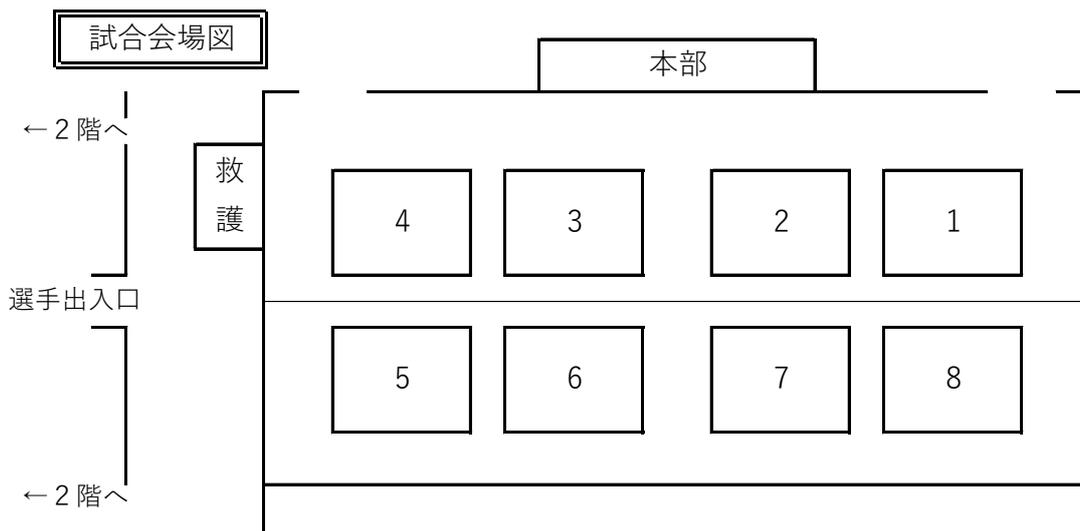


東京都高等学校新人剣道大会注意事項

東京都高体連剣道専門部 競技委員会

期日： 令和5年1月15日（日）
場所： 東京武道館
集合： 〔役員・補助生徒〕 午前7時45分
開場・受付： 男子 午前8時 女子 午前11時30分
開始式： (男子) 午前9時 【審判会議：8時20分～】
(女子) 午後12時30分(予定)

- 引率責任者と選手は受付を必ず行って下さい。引率責任者不在の場合は出場できません。
 - 面マスク、マウスシールドは必ずつけるようにして下さい。(無い場合は失格になります。)
 - 入場の際は事故の無いように間隔をあけて整列して係員の指示に従って下さい。
 - ・南入口・・・役員・補助生徒・選手・監督・引率責任者
 - ・西入口・・・応援
 - 更衣室・・・〔1階柔道場〕〔2階剣道場〕
 - 廊下、ロビー、武道館周辺等での素振り他一切の練習を禁止する。
 - 試合会場1階フロアへの入場は役員、選手、監督者、補助生徒のみとする。
 - 監督は審判員に準ずる服装で、監督章を必ず付け大会に参加すること。
 - 応援席の席取り等を行わないこと。
 - ゴミは所定のゴミ箱に分別して捨てるか持ち帰り、会場内外の美化に心掛けること。
 - 貴重品の管理は各自または各学校で責任を持って管理し、紛失や盗難事故等がないようにすること。
 - 安全上及び相手への礼儀等によりピアス、ネックレス等の装飾品を付けての参加を禁止する。
 - ガイドブックの「試合参加上の諸注意」「全国高体連申し合せ事項」をよく読み、竹刀・名札等の不備がないように注意して、円滑に試合が進行するように努めること。
 - トイレは清潔に利用し、スリッパ等は常に整理、整頓する事を心掛けること。
 - 負けたチームは速やかに退館してください。
- ※必ず都高体連剣道専門部のホームページを確認してください。



1 参加の条件

以下の各項に1つでも該当する選手及び引率者、役員は大会への参加を慎重に検討して下さい。

- ① 当日の受付での検温で37.5度以上の体温が検出された場合。
- ② 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」に記入された体温が37.5度以上の場合。
- ③ 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」の全てのチェック欄にチェックがつかなかった場合。

また、以下の各項に1つでも該当する学校は大会に参加することができません。

- ① 大会当日の受付前に、引率責任者の先生が大会参加者（補助役員の生徒を含む）から「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」（ホームページよりダウンロードする）を回収できない場合。
- ② 大会当日の受付に、引率責任者の先生が「参加同意書等の確認書」（ホームページよりダウンロードする）を提出できない場合。
- ③ 引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出され、試合開始時刻までに代替の引率責任者を立てることができなかった場合。
- ④ 剣道部内で感染者、濃厚接触者が出て※、所定の報告書による報告を剣道専門部が受けた結果、当専門部が出場不可を決定した場合。

※注 剣道部内で感染者、濃厚接触者が出た場合には報告書をホームページよりダウンロードし、以下までご一報ください。

tasukete@toksys.org

※注 大会2週間前から大会前日までに感染報告書を提出した学校が大会に参加する場合は、学校長が参加を許可する旨の文書（A4紙1枚、書式自由）を大会当日の受付に提出してください。

なお大会直前または大会当日に発熱者が出た場合は、大会当日に状況をお知らせください。この場合状況により大会参加を見合わせていただく場合がありますのでご了解ください。

2 登録選手が健康チェックシートのチェック欄をすべて満たすことができず、出場できなくなった場合の、特例的な選手補充の措置について

大会当日までに病気や怪我等のやむを得ぬ事情により選手の補充を申請する場合に限り、**ホームページの大会申込画面上の「選手交代許可願のダウンロード」ボタンより許可願書式を印刷し**、大会当日に競技委員長に提出し、許可を得る。

この場合に限り、交代の人数に制限を設けない。

また公印の発行が間に合わない場合は、公印なしの許可願を仮に提出し、

公印を押印した正規の許可願を後日提出し直す。

3 大会当日の健康チェックについて

次の2段階の方法によるチェック体制を設けます。

- ア. 大会当日の朝に、引率責任者の先生は大会参加者（補助役員の生徒を含む）から「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を回収する。
（ホームページより「● 東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書等の確認書（EXCEL）」をダウンロードする）
また引率責任者の先生も同じ同意書を記入・保管する。
- イ. 大会当日の朝に、引率責任者の先生は「参加同意書等の確認書」を大会本部に提出することにより、大会参加者の健康チェックを行ったものとする。
（ホームページより「● 東京都高等学校体育連盟主催事業における参加同意書等の確認書（EXCEL）」をダウンロードする）
- ウ. 引率責任者の先生は上記の「ア」で回収した「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を1ヶ月間、各校で保管する。
- エ. 大会本部は上記の「イ」で回収した「参加同意書等の確認書」を1ヶ月間、当専門部事務局で保管する。
- オ. 上記の「イ」の「参加同意書等の確認書」の提出がない学校は、大会への参加ができませんので、ご注意ください。
- カ. 「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」及び「参加同意書等の確認書」は剣道専門部ホームページのトップメニューよりダウンロードして入手していただきます。「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」に関して引率責任者の先生は参加者の数だけコピーをしてお使いください。
- キ. 引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出された場合の措置については、以下の「3. 引率責任者の当日の体調不良による緊急事態の対応について」をご覧ください。
- ク. 大会役員の先生は、「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を記入の上、大会本部に提出する。

4 引率責任者の当日の体調不良による緊急事態の対応について

引率責任者の先生が大会当日の検温チェックで37.5度以上の体温が検出された場合、大会会場にお入りいただくことができません。この場合、該当校は引率責任者が不在となり、大会に参加することができません。

このような緊急事態に備え、参加校各位におかれましては、事前に緊急事態が発生することを想定し、以下の優先順位に沿って代理の引率責任者候補1名を決め、予め代理候補の方に依頼をしていただきますよう、お願いいたします。

（優先順位1） 剣道部の顧問として加盟登録時に登録がある、他の教諭や非常勤の先生または剣道部の外部指導員

（優先順位2） 剣道大会の引率者としてふさわしい、剣道部顧問でない、校長、

副校長、教頭を含む教諭、非常勤、講師の先生
(優先順位3) 剣道大会の引率者としてふさわしい、剣道部員の保護者

上記の緊急事態が発生した場合は、大会当日の受付時に報告をお願いいたします。なお引率責任者の交代は上で述べた緊急事態発生時の特別措置であり、特段の理由がないにもかかわらず上記の優先順位2、3の方に代理引率を任せていることが発覚した場合、当該校は失格となり、出場資格を失いますのでご注意ください。

5 大会会場への入場に関して

- ① 12月に実施する支部予選においては、大会会場に入ることができるのは大会役員及び選手、引率者・監督のみとし、すべての試合を無観客、無応援にて行います。引率者・監督は大会会場に入場することが出来ますが、試合場に入ることが出来るのは監督章を左胸に着用した先生1名のみとなります。
- ② 1月に実施する都大会においては、大会会場に入ることができるのは大会役員及び選手、引率者・監督のほか、以下の条件で観戦者の入場を認めます。
 - ア) 参加する高等学校の剣道部員。ただし、男子は男子の試合のみ、女子は女子の試合のみの観戦を可とする。
注) 同じ学校に所属する中学生の剣道部員は入場できない。
 - イ) 参加する高等学校に配布された「保護者入場整理券」を携帯する保護者。
 - ・ 整理券は支部予選で勝ち上がった学校に対し、登録選手の人数分の枚数をあらかじめ配布します。
(例：7人登録がある学校へは7枚を配布)
 - ・ 入場する保護者は大会当日、「保護者入場整理券」を常に携帯するものとします。
 - ・ 入場する応援生徒は所定の「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を大会当日、顧問の先生に提出してください。
 - ・ **入場する保護者は所定の「参加同意書 兼 健康管理チェックシート」を大会当日、顧問の先生に提出してください。**
- ③ 引率者は原則1名としますが、学校の事情により複数での引率を必要とする場合は大会当日の受付にて口頭により理由を申告してください。

6 大会受付時に提出いただくものについて

- ① 参加同意書等の確認書 参加する日ごとに1枚
- ② 竹刀検量確認書 参加する日ごとに1枚
- ③ 選手交代許可願 (必要がある場合のみ)
(一部の選手が出場できなくなり、選手の交代を補充により行う場合に使用する)
注 選手を補欠要員により補充することで、補欠を追加補充する際にも提出する。

なお、選手、補助役員生徒の皆さんは以下の1点を引率責任者の顧問の先生に

提出して下さい。また引率顧問の先生も同じ書面を記入し1ヶ月間保管して下さい。

④ 参加同意書 兼 チェックシート

7 大会会場使用上の注意

- ① 指定の時間より前に大会会場に入ることはいけません。
(※ 集合時間を確認してください)
- ② 会場に持ち込むことができる飲食物は飲料水のみです。
- ③ 昼食をとる場所は会場内にはありません。
(除く 午前と午後に試合がまたがる場合)
- ④ 更衣場所を待機場所として利用することはできません。
- ⑤ 試合に敗退した場合は、その後の他校の試合を観戦することも、大会会場に居残ることもできません。
- ⑥ 開会式、閉会式は行いません。表彰は個別に行います。
- ⑦ その他、剣道専門部ガイドライン（ホームページに掲載）の記載事項をよく読み、内容を遵守してください。

8 試合審判法、および着用品の暫定的な変更について

- ① 以下の指針に沿った試合運営となります。参加する選手、引率する先生は事前に必ずご覧ください。

→ 1 <https://www.kendo.or.jp/information/20200406/>
(全剣連 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な
試合審判法)

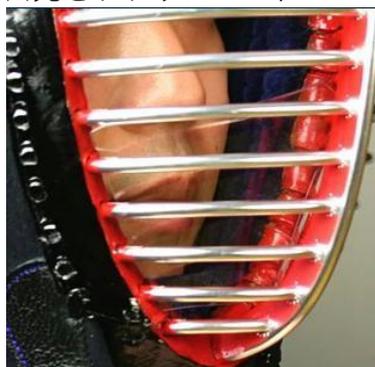
2 <https://www.kendo.or.jp/information/20210826/>
(全剣連 新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な
試合・審判法運用の質問事項及び解説【最新版】)

- ② 通常の剣道具に加え、全日本剣道連盟から示された新たな見解に従い、当面の間、以下の二点を必須の着用品とします。

ア 口と鼻の両方を覆う面マスク（鼻を出すことは不可）



イ 口元をおおうシールド



上記二点の着装が確認されない場合は、選手は試合に参加することができません。

『東京都高等学校新人剣道大会』の試合方法について

競技委員会

1) 各チーム1, 2年生のみ7名を登録選手とし5人制で行う。ただし、試合ごとのオーダー(試合順序)の変更は自由とする。

2) 代表者戦の出場選手は当該試合出場者のうち任意の1名とする。

3)「メンバー表シール」の提出について

① メンバー表シールは大会当日の受付時、各校に1枚ずつ配布する。(不足の場合は、当該試合場に用意してあるのでそれを利用すること。)

② メンバー表シールは、当該試合の2試合前までに(試合が連続する場合はこの限りではない。)各試合場の「審判主任」に、監督またはチームの代表者(選手)が提出すること。(できるだけ監督が望ましい。)

ただし第1試合、第2試合に出場するチームは、開会式終了後、直ちにメンバー表シールを各試合場に提出すること。

③ 4人または3人で出場するチームは、メンバー表シールの「先鋒」(3人で出場するチームは「次鋒」も)の氏名欄に斜線を引き提出すること。

④ 4名または3名で出場するチームとの対戦校は、メンバー表シールの「先鋒」(3名で出場するチームとの対戦の場合は「次鋒」も)の氏名を記入しその氏名を○で囲み、提出すること。

⑤ メンバー表シールの校名の上の()にはプログラムの試合順序(1-2・8-4など)を記入すること。

⑥ 一度提出したメンバー表シールの再提出(メンバー変更・オーダー変更)は認めない。

以上

